

## 海外安全対策情報 令和2年度第1四半期(4月～6月期)

### 1 治安・社会情勢及び一般犯罪の傾向

#### (1) 治安・社会情勢

1月より中国国内で急速に感染拡大した新型コロナウイルスはグアム島においても感染が拡大しており、政治・経済、市民生活に甚大な影響を与えています。特にグアムの地域経済を支えている観光業を中心に、多くの業種が休業を余儀なくされています。事態の長期化は雇用及び収入の不安定につながり、これに伴う治安悪化も懸念されているところ、グアム滞在中の短期滞在者の方、グアムにお住まいの在留邦人の方は、新型コロナウイルス感染防止に向けた取り組みと併せて、防犯意識を高めて頂きますようお願い致します。なお、新型コロナウイルス感染拡大に関する情報については、当館ホームページに専用ページを設け、各種情報を掲載しております。

#### (2) 一般犯罪の傾向

統計上、グアム島内で認知される全犯罪件数の約半数は窃盗罪に属する犯罪です。具体的には、空き巣、自動車盗、車上荒らし、ひったくり、置き引きなどです。グアムでは、こうした犯罪の被害に遭う可能性があるため自宅や外出時の防犯対策が必要です。

またグアムでは一般人による銃器の所有及び携行は許可制のもと合法化されていますが、非合法に銃器を所有している者も少なくなく、米国本土と同じく、グアムも「銃社会」です。拳銃などの銃器が強盗や殺人などの犯罪に使用される事件も発生しています。こうした事件は夜間から深夜にかけて比較的多く発生していることから、夜遅い時間の外出の要否の検討も含め十分にご注意ください。

その他、観光客を狙った犯罪は観光の中心地タモン地区での発生が最多で、特に被害はパリー・サン・ビトーレス通り（通称「ホテルロード」）または1号線（マリンコアドライブ）付近で発生しており、同地区内でのひったくり事件や窃盗事件が多数起きています。

また、その他の地区においても、過去には恋人岬近くで二人組の男が拳銃を突きつけて親子を襲った強盗事件が発生していることから、人気のある観光名所であっても注意が必要です。

こうした背景の一つに、グアムでは、薬物関連犯罪が増加傾向にあり、麻薬中毒者が麻薬を購入する金ほしさに多額の現金を所持する外国人観光客を狙って犯行に及ぶことが多いといわれています。

また、そのほか地元の者が外国人観光客と街中・ビーチなどで知り合い

になり、共に行動し、別れる直前に、観光客の所持品を窃取もしくは、不当に金を要求、または、ホテルの部屋に招き入れたところを襲われるなどの被害も発生しているほか、女性観光客につきまとい、強引に連れ出す、または、オプションツアー客をアテンドする運転手と偽って、目的外の場所に連れていき、金を要求する事案も過去には発生しています。

## 2 凶悪犯罪等の発生状況

### (1) 殺人事件

5月4日朝、モンモン村のアパートの一室から銃声が聞こえたとの通報があり、警察が現場に駆けつけたところ、室内で40歳代の男性が倒れているのを発見した。同男性は、病院に搬送されるも、その後死亡が確認されました。その後の警察の捜査で現地に住む男が逮捕されました。

### (2) 殺人未遂事件

5月30日午後、ジョーニャ村の住宅街の路上で女性とその子供がナタを所持した知人の男に突然襲われたため、近くの村役場に逃げ込みました。通報により駆けつけた警察により、男は逮捕されました。

### (3) 殺人

6月23日午後、アガニアハイツ地区の住宅街の路上で銃声がしたとの通報があり、駆けつけた警察官が路上に倒れている男性2人を発見しました。男性2人は、病院に搬送されるも、その後、死亡が確認されました。警察は現場付近において、銃を不法所持している男を発見し、逮捕しました。

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

当該情報には接していません。

## 4 誘拐事件発生状況

当該情報には接していません。

## 5 対日感情

当地は観光業が主たる産業であり、外国人を排斥しようとする風潮は見られません。2019年の日本からの年間来訪者数は約68万人で、韓国に次ぎ大きなシェアを有していることもあって、一般的に対日感情は良好です。

## 6 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。